

## 談話室 ひこばえ倶楽部

産経新聞 令和元年（2019年）6月3日（月）

### 園児の小さな支えになりたい

大学生 荒木梨菜 18

幼稚園の時、何でもできる憧れの先生がいた。私が通っていた幼稚園には、友達同士で「絵はがき」を送り合う習慣があった。私は憧れの先生にも出した。

先生からもらった返事のはがきを見ると、字も絵も上手だった。それからは先生の描いた絵をまねして返事を出していた。

そんな時、先生が私にあだ名をつけてくれた。憧れの先生にあだ名をつけてもらえただけでうれしかったが、それを聞いた友達も、私をそのあだ名で呼んでくれるようになった。

話したことのなかった子とも、あだ名がきっかけで話す機会ができて、友達が増えていった。

先生の何気ないひと言で子供たちの発想力を鍛えたり、友達づくりの手伝いができたりする。私は子供たちの目線に立って、小さな支えになれる幼稚園の先生になりたい。（奈良市）

※無断転載不可